

2013年度 学部・二部 火曜5限 研究指導(中嶋ゼミ)3年

リーディング課題

Lecture 1: 4/9/2013 Intro to the Seminar

ゼミ概要の説明。ゼミのテーマである「地球高齢化」(Global Aging) への導入。

Lecture 2: 4/16/2013 Intro to the Challenge of Global Aging (1)

Reading Assignments:

- *Global Aging: The Challenge of the New Millennium* (CSIS, 1999).
<http://csis.org/files/media/isis/pubs/globalaging.pdf>

References:

- 中嶋圭介『3・11 で現実化した「成長の限界」が日本を再生する』「地球高齢化時代」pp.69-92.
- 中嶋圭介「グローバル・エイジング—高齢化によって一変する世界と日本の長期国際戦略 (前編) (後編)」政策空間 (2005年11・12月号)
http://www.policyspace.com/2005/11/post_467.php
http://www.policyspace.com/2005/12/post_477.php

Lecture 3: 4/23/2013 Intro to the Challenge of Global Aging (2)

Reading Assignments:

- *A Special Report on Aging Populations, The Economist*, June 25, 2009.
<http://www.economist.com/node/13888045>

上記の特集号の中から以下4つの記事が必修。その他4つはオプショナル。

1. “A slow-burning fuse”
2. “Suffer the little children”
3. “A world of Methuselahs”
4. “Into the unknown”

Lecture 4: 5/7/2013 Falling Fertility and Rising Longevity

Reading Assignments:

- *The Graying of the Great Powers* (CSIS, 2008), Chapter 2, “A Closer Look at the Drivers” (pp. 45-59) (Life Expectancy のセクションの終わりまで)

Notes: 以下のセクションについては、少し専門的知識が必要です(クラス中に私が解説します)ので、飛ばして読んで OK。今回は、“demographic transition” (人口転換)、“demographic dividend” (人口ボーナス)、“replacement rate (level)” (人口置換水準)、“timing shift (effect)” (タイミング効果)、“demographic momentum” (人口モメンタム)などが、理解しておくべきキーワード。

- (1) p. 46, 3 段落目 “In this report---” から p.47, 1 段落目まで (...to cope with the consequences.)
- (2) p. 50, 2 段落目 “In calculating the current-year fertility rate....” から p. 51, 1 段落目まで (...to be happening anywhere.)

References:

- 国立社会保障・人口問題研究所 (2008) 『日本の人口減少社会を読み解く』2, 3, 6 章

Lecture 5: 5/14/2013 A Tour of the Developed World

Reading Assignments:

- *The Graying of the Great Powers* (CSIS, 2008), Chapter 2, “A Tour of the Developed World” (pp. 38-45).

Notes: 先進世界の地域分けの定義については、p. 205 の表を参照。今回のリーディング課題は、非常に短いです。発表担当者は、しっかりと背景リサーチをして発表に臨んで下さい。ポイントは、1) 先進地域の人口動態トレンドを理解すること、2) 日本の人口動態の相対的な特徴を知ること。

References:

- 国立社会保障・人口問題研究所 (2008) 『日本の人口減少社会を読み解く』1, 2, 3, 6 章
- 中嶋圭介「地域別人口動態指標」(CSIS, 2008)

Lecture 6: 5/21/2013 A Tour of the Developing World

Reading Assignments:

- *The Graying of the Great Powers* (CSIS, 2008), Chapter 4, “A Tour of the Developing World” (pp. 162-183).

Notes: 途上世界の地域分けの定義については、p. 205 の表を参照。ポイントは、1) 先進世界との違い、2) 途上世界内での違い、3) 特に BRICS など新興国の動向。

References:

- 国立社会保障・人口問題研究所 (2008) 『日本の人口減少社会を読み解く』1, 2, 3, 6 章
- 中嶋圭介「地域別人口動態指標」(CSIS, 2008)

Lecture 7: 5/28/2012 Demography and Economy (1): Shrinking Working-Age Population and Female Labor Force

Reading Assignments:

- 国立社会保障・人口問題研究所 (2008) 『日本の人口減少社会を読み解く』「第 8 章 少子高齢化・人口減少の社会経済的影響」 pp.148-155
- 加藤久和 (2007) 『人口経済学』「第 4 章 労働市場と出生・結婚」「第 5 章 人口変動とマクロ経済」 pp.92-129

Lecture 8: 6/4/2013 Demography and Economy (2): Shrinking Working-Age Population and Senior Labor Force

Reading Assignments:

- 清家篤 (2002) 『労働経済』「第 10 章 高齢者雇用の経済分析」 pp.252-281
- 松谷明彦 (2007) 『2020 年の日本人』「第 1 章 日本人の働き方」 pp.67-92
- 八代尚宏 (1999) 『少子・高齢化の経済学』「第 8 章 高齢者就業と「65歳現役社会」」 pp.141-155

Notes: 退職保障制度は、財政問題のところで詳しく扱う。分からないところを質問として整理しておくくらいにして、ここであまり時間をかけ過ぎないように。焦点は、高齢者労働力の活用です。

Lecture 9: 6/11/2013 Demography and Economy (3): Shrinking Working-Age Population and International Migration

Reading Assignments:

- *A Special Report on Migration, The Economist*, January 5, 2008.
<http://www.economist.com/node/10286197>

上記の特集号の中から以下4つの記事が必修。その他は任意。

1. "Open up"
2. "Of bedsheets and bison grass vodka"
3. "Circulate or integrate"
4. "The long-term"

Lecture 10: 6/18/2013 Demography and Economy (4): Shrinking Working-Age Population and International Migration (...continued)

Reading Assignments:

- 国立社会保障・人口問題研究所 (2008) 『日本の人口減少社会を読み解く』「第9章 世界の人口と国際人口移動」 pp. 176-185
- 松谷明彦 (2007) 『2020年の日本人』「第1章 日本人の働き方」 pp. 93-114
- 『日本の論点』(文藝春秋編)

2011年版

「今こそ「新文明開化」を一移民の受け入れこそ、需要を創り知日派を創る」堺屋太一
[基礎知識] 「日本の「移民国家化」はどこまで進んでいるか？」

2009年版

「移民一〇〇〇万人」を目指す理由—多文化共生社会こそ日本の生きる道 中村博彦
「西欧の教訓—大量の移民受け入れは日本社会を間違いなく混乱させる」小池和男
[基礎知識] 「移民受け入れ議論の背景に何があるか？」

Lecture 11: 6/25/2013 Demography and Economy (6): Savings & Investment

Reading Assignments:

- 国立社会保障・人口問題研究所 (2008) 『日本の人口減少社会を読み解く』「第8章 少子高齢化・人口減少の社会経済的影響」 pp.156-162
- 加藤久和 (2007) 『人口経済学』「第5章人口変動とマクロ経済」 pp.130-137
- Jackson and Howe, *The Graying of the Great Powers*, pp.97-108.

References:

- ポール・ウォレス (2001) 『人口ピラミッドがひっくり返るとき』「第3章人口統計が金融市場を動かす」 pp.67-95.

Lecture 12: 7/2/2013 Demography and Economy (7): Technology (Productivity Improvement)

Reading Assignments:

- 原田泰・鈴木準 (2005) 『人口減少社会は怖くない』「第6章 生産性を上げよう」 pp.123-150
- 加藤久和 (2007) 『人口経済学』「第5章人口変動とマクロ経済」 pp.137-144

- Jackson and Howe, *The Graying of the Great Powers*, pp.108-112.

Lecture 13: 7/9/2013 Fiscal Challenge: Pension (1)

Reading Assignments:

- 鈴木亘 (2012)『年金問題は解決できる!』日本経済新聞出版社
第1章「すでに崩壊している「100年安心プラン」」 pp. 17-35
第2章「20年後に迫る悪夢」 pp. 38-61

Lecture 14: 7/16/2013 Fiscal Challenge: Pension (2)

Reading Assignments:

- 鈴木亘 (2012)『年金問題は解決できる!』日本経済新聞出版社
第3章「祖父と孫の年金受給格差は6300万年」 pp. 63-87
第4章「諸悪の根源はどこにあるのか」 pp. 89-120

Lecture 15: 7/23/2013 Fiscal Challenge: Pension (3)

Reading Assignments:

- 鈴木亘 (2012)『年金問題は解決できる!』日本経済新聞出版社
第5章「積立方式移行で年金問題は解決できる」 pp. 121-152
第6章「積立方式移行」の実際」 pp. 153-181

【後期授業】

Lecture 1: 9/24/2013 Fiscal Sustainability & Income Adequacy (1)

Reading Assignments:

- Jackson, Howe, and Nakashima, *The Global Aging Preparedness Index* (Center for Strategic and International Studies, October 2010), pp. 1-22.
<http://csis.org/publication/global-aging-preparedness-index>

Lecture 2: 10/1/2013 [休講]

Lecture 3: 10/8/2013 Fiscal Sustainability & Income Adequacy (2)

Reading Assignments:

- Jackson, Howe, and Nakashima, *The Global Aging Preparedness Index*, pp. 22-43 (Category Three: Benefit Dependence まで).

Lecture 4: 10/15/2013 Fiscal Sustainability & Income Adequacy (3)

Reading Assignments:

- Jackson, Howe, and Nakashima, *The Global Aging Preparedness Index*, pp. 45-52.

Notes: GAP Index の結論にあたるセクションです。20か国を比較評価してきた結果、各国における政策的対応について議論されています。二つの目標を持って読んで下さい。第一に、各国の高齢

化、財政的インパクト、高齢者の経済社会的状況についてイメージを持てるようにすること。第二に、このレポートが各国に提案する政策的対応について理解すること。

Lecture 5: 10/22/2013 Demography & Business (1)

Reading Assignments:

- 朝日新聞社経済部編 (2004)『日本縮小—ダウンサイジング社会への挑戦』第2章2節「コンビニとフェアレディZ——激変する消費社会」pp.60-66
- 日本経済新聞社編 (2006)『人口減少—新しい日本をつくる』第2章1節 pp.44-47、3-4節 pp.55-64
- 村田裕之 (2004)『シニアビジネス—「多様化市場」で成功する10の鉄則』序章 pp.6-23、終章 pp.200-212

Notes: 「人口高齢化とビジネス戦略」のテーマに入ります。この分野の課題は、様々な業界、商品・サービス、国・地域のケース・スタディが中心です。発表者は、内容報告だけでは大変つまらないプレゼンになってしまいますので、ポイントを明確かつ簡潔に。(最近の雑誌・新聞記事等も含めて)外部資料にも積極的に当たる努力をして下さい。

Lecture 6: 10/29/2013 [休講]

Lecture 7: 11/5/2013 Demography & Business (2)

Reading Assignments:

- ポール・ウォーレス (2001)『人口ピラミッドがひっくり返るとき—高齢化社会の経済新ルール』草思社
第5章「ビジネスの新しいルール」 pp.111-143
第6章「文化革命」 pp.144-173

Lecture 8: 11/12/2013 Demography & Business (3)

Reading Assignments:

- ポール・ウォーレス (2001)『人口ピラミッドがひっくり返るとき—高齢化社会の経済新ルール』草思社
第3章「人口統計が金融市場を動かす」pp.67-95
第4章「不動産の新しいルール」pp.96-110

Lecture 9: 11/19/2013 [休講]

Lecture 10: 11/26/2013 Presentation Competition (1)

Lecture 11: 12/3/2013 Presentation Competition (2)

Lecture 12: 12/10/2013 Presentation Competition (3)

Lecture 13: 12/17/2013 Presentation Competition (4-1) [補講 4 限]

Lecture 14: 12/17/2013 Presentation Competition (4-2) [補講 5 限]

Notes: 10/22、11/5、11/12 の3回シリーズで見てきた「人口高齢化とビジネス戦略」を締め括るに当たって、プレゼン大会を行います。3回のリーディングで見てきた例を参考に、皆さんそれぞれが、自分の好きな業界、商品・サービス市場を選び、リサーチをして下さい。(1)高齢化の影響がどのようなビジネスに影響を与えているのか、(2)それに対して経営者らがどのような経営戦略の転換を行ってきているのか、(3)1~2を踏まえて、あなたが考えたこと、2で対策不十分と思った

場合には、自分ならこうするという提案とその理由、などに焦点を当ててプレゼンを行って下さい。終了後、私も含めて皆さんからの投票で、どなたの研究・プレゼンが良かったかを評価します。豪華商品が当たる・・・かもしれない。

Lecture 15: 1/7/2014 Work-Life Balance (1)

Reading Assignments:

- 佐藤博樹・武石恵美子 (2004)『男性の育児休暇——社員のニーズ、会社のメリット』中公新書
プロローグ pp.3-11
第1章「なぜ男性は育児休暇を取らないのか」 pp.14-58
第2章「企業にとって子育て支援はマイナスか」 pp.60-97

Notes: 「育児」に焦点を当てます。育児というと女性問題と考えられがちですが、女性に家事、育児、介護に加えてより積極的な就労参加が期待されるのであれば、男性にとっても、少数精鋭で厳しい企業競争に勝ち抜く働き方を追求しつつ、より積極的に家庭生活での役割を果たすことが期待されて然るべきです。特に東アジア諸国では男性社会的な色が濃く、極端な少子化進行の背景要因となっていると考えられ、男性の家庭・育児参加が疎かになりがちです。そこで、男性視点も意識しつつ、ワークライフバランスについて考える機会としたいと思います。

Lecture 16: 1/14/2014 Work-Life Balance (2)

Reading Assignments:

- 佐藤博樹・武石恵美子 (2004)『男性の育児休暇——社員のニーズ、会社のメリット』中公新書
第3章「男性の子育て参加モデル」pp.100-124
第4章「海外にみる男性の子育て支援策」pp.126-142
第5章「企業が取るべきアクションとは何か」pp.144-167
エピローグ pp.169-178

Lecture 17: 1/21/2014 [調整日]

発表担当

講義日	発表者	リアクション件名*
4月9日	<i>Not applicable.</i>	<i>Not applicable.</i>
4月16日	藤原、原田、平田	13-0416_GlobalAging(1)
4月23日	楳本、木村、松坂	13-0423_GlobalAging(2)
5月7日	三好、麥本、永田	13-0507_Fertility
5月14日	中川、中原、成山	13-0514_DevelopedWorld
5月21日	菅原、富永、外崎	13-0521_DevelopingWorld
5月28日	西本、藤原、原田	13-0528_FemaleWorkers
6月4日	平田、楳本、木村	13-0604_SeniorWorkers
6月11日	松坂、三好、 永田	13-0611_Migration(1)
6月18日	麥本 、中川、中原	13-0618_Migration(2)
6月25日	成山、菅原、富永	13-0625_Savings
7月2日	外崎、西本、藤原	13-0702_Technology
7月9日	原田、平田、楳本	13-0709_Pension(1)
7月16日	木村、松坂、三好	13-0716_Pension(2)
7月23日	麥本、永田、中川	13-0723_Pension(3)
9月24日	成山、富永	13-0924_GAPIndex(1)
10月1日	休講	
10月8日	菅原、外崎	13-1008_GAPIndex(2)
10月15日	原田、平田	13-1015_GAPIndex(3)
10月22日	楳本、松坂	13-1022_Business(1)
10月29日	休講	
11月5日	三好、麥本	13-1105_Business(2)
11月12日	永田、中川	13-1112_Business(3)
11月19日	休講	
11月26日	プレゼン大会1日目	成山、菅原、富永、外崎
12月3日	プレゼン大会2日目	木口、松尾、中村、小川
12月10日	プレゼン大会3日目	大塚、田中、原田、平田
12月17日 4限	プレゼン大会4-1日目	楳本、松坂、中川
12月17日 5限	プレゼン大会4-2日目	三好、麥本、永田
1月7日	木口、松尾	14-0107_Work-Life(1)
1月14日	中村、小川	13-0114_Work-Life(2)
1月21日	大塚、田中	調整日

*綴りは、全て半角英数。ハイフンとアンダーバーに注意。

6/11 麥本 ←→ 6/18 永田